

まちの未来を描く。

見えないまちの魅力を見つけ、
定量化できない価値を考える

杉並区では、地域に関わる方々が自分たちのまちの未来を描き、意見交換する場として「(仮称)デザイン会議」を開催しています。この会議では、参加者が主体となって地域の魅力を高める取組を考え、まちづくりを進めていこうとしています。この取組の契機となった都市計画道路について、区では、「防災」「環境」などの観点から整備効果を定量化しました。今回の講座では、区民の皆さんから関心の寄せられた、定量化が難しい「景観」「賑わい」「歴史・文化」などのまちの魅力について専門家の意見を交えながら考えていきます。今回お招きする専門家は「区独自の都市計画道路の効果検証」に関して専門的な知見に基づく貴重なご意見を頂いた方々です。皆さんの声をまちづくりに活かし、より良いまちづくりを実現していくために是非ご参加ください。

3.7 2026 SAT

14:30-17:00

受付 14:00-

申込フォーム



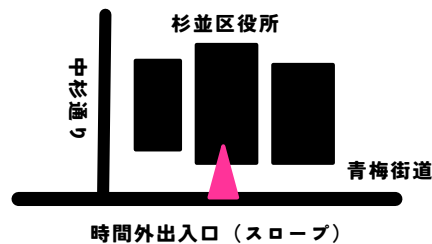
(仮称)デザイン会議 まちづくり講座

【対象】区内在住・在勤・在学の方

【場所】杉並区役所 第4会議室(中棟6階)

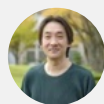
【定員】100名(応募者多数の場合は抽選)

【申込】上記二次元コードより申し込み



🕒 プログラム

第一部 [講座] まちの価値と都市計画



饗庭 伸 講師

東京都立大学
都市環境学部
都市政策科学科 教授

地域住民が感じるまちの魅力や暮らしやすさ、価値をどう捉え、まちづくりの中で住民の意見をどう反映させるか...。都市計画や政策への住民参加の意義を学び、それがまちの魅力にどう活かされるのかを考える。

第二部 [講座] 地域経営とコミュニティデザイン



初山 真人 講師

東京女子大学
代教養学部経済経営学科
地域デザインコース 特任教授

地域経営やコミュニティデザインの視点から、住民がどのように共同して地域を運営し、地域資源を最大限に活用するのか...。住民同士のつながりを強化し、まちの魅力をどう育てるのか、実践事例から学ぶ。

第三部 講師と参加者による意見交換

閉会

まちの価値と都市計画

饗庭伸

東京都立大学

aib@tmu.ac.jp

評価とは何か？

視点と、データと、価値観の組み合わせ

例えば・・・

道路整備に対して、**景観の視点**から、**100人にアンケート**をとり、「**心地よくない**」が**8割を超えた**から、「**景観が悪くなる**」と評価する

道路整備に対して、**交通安全の視点**から、**100路線の道路の交通事故のデータ**をとり、**8割の街路において道路整備による事故の減少が認められた**ので、「**交通は安全になる**」と評価する

- ①**視点**はたくさんある。視点によって結果が違い、それは交わらない。
- ②**データ**は数が必要。定性データと定量データがある。
- ③**価値観**がないと評価ができない

視点と、データと、価値観の組み合わせ

視点

①景観も防災も自然も歴史も「視点」

②本来は人の数だけ視点がある。

③複数の視点を組み合わせて自分の視点をつくっている。

④視点の最大公約数は自治体の計画にあらわれる。（右図は杉並区の基本構想）

⑤評価に関わる人の視点を出し合って、それを整理して、評価の視点をつくっていく。

分野ごとの将来像を以下のとおり描き、その実現に向けて、取り組んでいきます。

防災
防犯

みんなで作る、
災害に強く、
犯罪を生まないまち

まちづくり
地域産業

多様な魅力と交流が生まれ、
にぎわいのある快適なまち

環境
みどり

気候危機に立ち向かい、
みどりあふれる良好な環境を
将来につなぐまち

健康
医療

「人生100年時代」を
自分らしく健やかに
生きることができるまち

福祉
地域共生

すべての人が認め合い、
支え・支えられながら
共生するまち

子ども

すべての子どもが、
自分らしく生きていくことが
できるまち

学び

共に認め合い、
みんなで作る
学びのまち

文化
スポーツ

文化を育み継承し、
スポーツに親しむことの
できるまち

視点と、データと、価値観の組み合わせ データ

①統計データ、アンケートのデータなどが「データ」。これがないと評価できない。

②データは「すでにあるもの」と「つくるもの」がある。視点ごとにどういうデータを使うのかを決める。

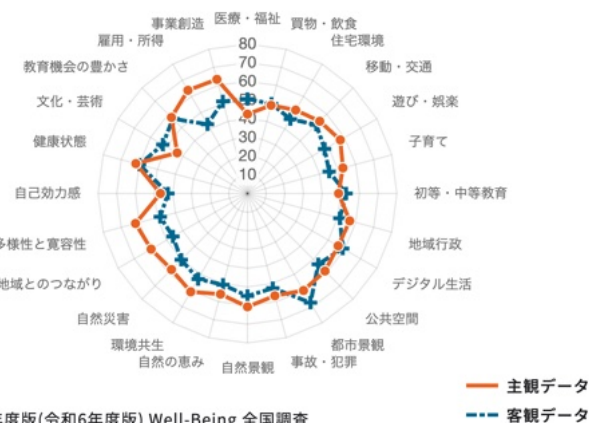
③偏りのないデータをとる

全部のサンプル（例えば全杉並区民）をとれないことが多いので、偏りのないデータ（例えば無作為抽出）、代表性のあるデータをとる。

e-Stat is a government portal site for statistics in Japan. It provides various tools for searching and utilizing statistical data. The interface includes a search bar, navigation menus, and buttons for different data visualization and analysis options.

e-Statで公開されている政府統計は総じて解像度が粗いが全体像はつかめる

カテゴリ別



ウェルビーイングダッシュボードでは、自分のまちの人たちの好みを見ることが出来る

視点と、データと、価値観の組み合わせ

定性データと定量データ

①定性データと定量データがある。

②定性的なものを定量的に把握することはできる。

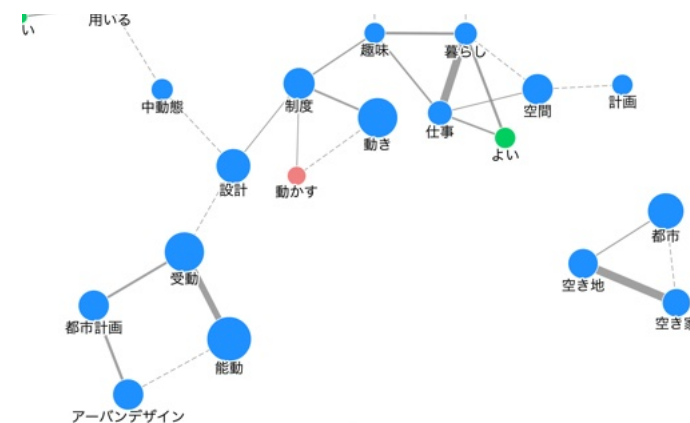
景観におけるSD法、インタビューデータのテキストマイニングなど

「数字じゃないんだよ！=数字では抽象化できない」はあるので、定性データと定量データがピッタリと噛み合うことはない。

③定性的なものを定性的なデータで把握することもできる。

	第1因子 「貧富」	第2因子 「一般」	第3因子 「調和」	共通性
汚い-きれい	0.802	-0.067	0.046	0.650
安い-高級	0.927	-0.092	-0.043	0.764
貧しい-豊か	0.885	0.081	-0.111	0.743
荒れた-手入れされた	0.756	-0.110	0.100	0.611
閉鎖的な-開放的な	0.351	0.408	-0.032	0.378
人工的な-自然的な	-0.216	0.631	-0.094	0.355
落ち着かない-落ち着く	-0.061	0.889	0.137	0.808
嫌い-好き	0.266	0.628	0.067	0.627
不連続な-連続的な	-0.050	-0.089	0.657	0.388
不調和な-調和のとれた	0.106	0.068	0.789	0.755
ばらばらな-統一感のある	-0.073	0.099	0.899	0.777
まとまりがない-一体感がある	0.037	0.010	0.906	0.864

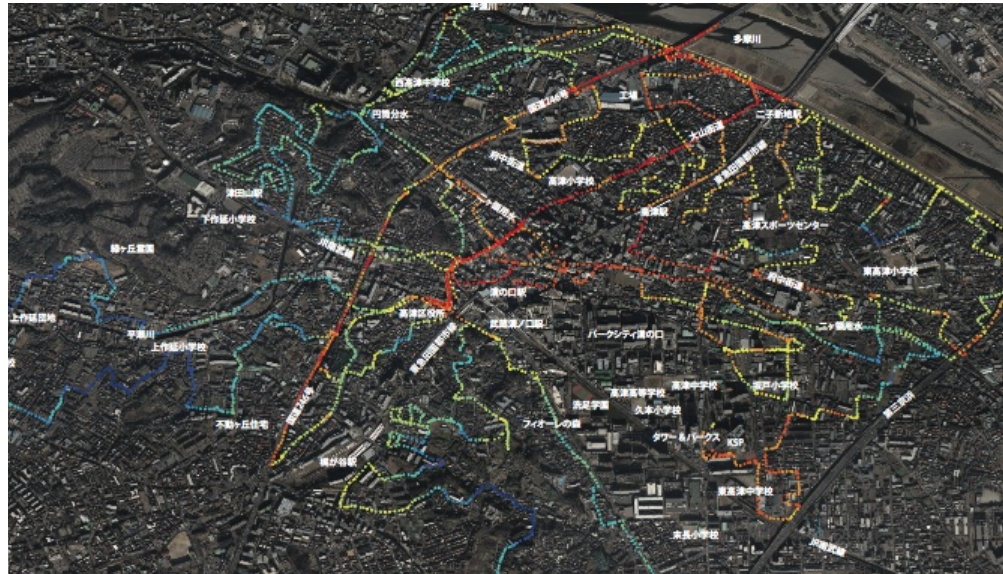
景観の印象を「形容詞の対」で調べ、数量化して評価する「SD法」



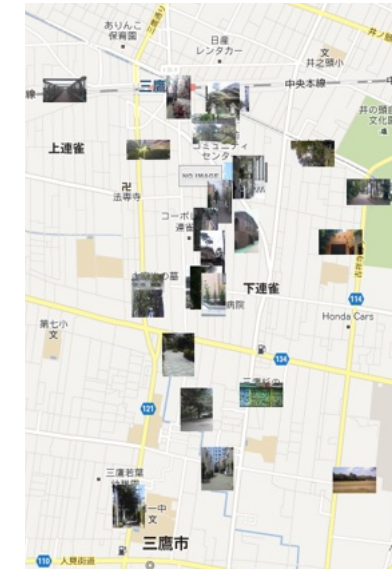
単語と単語のつながりを数量化して分析する「テキストマイニング（共起NW分析）」

視点と、データと、価値観の組み合わせ

住民参加はデータをあつめることでもある



市民が温度計を持って歩き、都市の気温を計測する



スマホを使った景観写真の収集と評価



相互インタビューでデータを集める

視点と、データと、**価値観**の組み合わせ

価値観

①どんなにデータが集まっても、価値観と結びつけておかないと、評価はできない。

(例) 日影時間=5時間の日影だったら我慢しよう、誰が決めたの？

(例) 交通事故はゼロがいい？

(例) 多数決で決めて良いの？

→評価者であらかじめ合意形成しておく。

②複数の視点を統合しないと、評価は統合できない

(例) 景観がよくても、災害に弱かったらどうする？

→評価者がどの視点をどれくらいの割合で評価するかデータをとり、重みづけをつけていく

まちの価値と都市計画

- ①評価と合意形成は分ける。
- ②最後は評価データをみながら、話をしながら合意を形成する。
- ③ばっちりした一言で、全てが納得されることもある。その「美しい瞬間」に立ち会えることが、人間社会の醍醐味である。
- ④評価は蓄積していくことが大事。一連のデータと価値観を蓄積しておき、次につなげていく。独自のAI（人工知能）を育ててもよい。

